

北部健康福祉センター（仮称）整備事業について

1 背景及び経過

本市では、各地域に健康福祉施設を設置し、それぞれの施設の特色を活かしながら、保健福祉の向上、健康の増進等を図っているが、更なる健康意識の高まりや市北部（都賀・西方）地域における既存施設の狭あい化・老朽化を受け、新たな健康福祉施設の整備が求められてきた。

こうした状況を受け、市北部地域における健康と福祉の拠点施設を整備するため、平成 27 年度に施設整備の基本方針、導入機能、施設規模、建設場所及び事業スケジュール等を整理した「栃木市北部健康福祉センター（仮称）基本構想」を策定。平成 28 年度に基本設計が完了し、平成 29 年度は実施設計を進めてきた。

2 建築場所

西方町本城地内（西方総合支所北側）

3 建物概要

鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 2 階 地下 1 階（別添図面のとおり）
延床面積 2,760.58 m²（計画通知の審査の結果、修正される可能性がある）
（その他：駐輪場 24.20 m²、ボンベ庫 2.00 m²、油庫 4.00 m²）

4 工事費

約 21 億円（H30・31 継続費）

（財源内訳）

地方債（旧合併特例債）、基金（地域福祉基金、大澤基金）及び一般財源

5 事業スケジュール

2018 年（平成 30 年）	5 月～7 月	新築工事の入札・仮契約
	9 月	新築工事契約の議決
	10 月	新築工事着工
2020 年	3 月	完成
	4 月	開館準備（営業許可手続き等）
	5 月	開館

6 その他

設置管理条例関係	2019 年（平成 31 年）3 月議会上程予定
指定管理者関係	2019 年度（平成 31 年度）募集予定

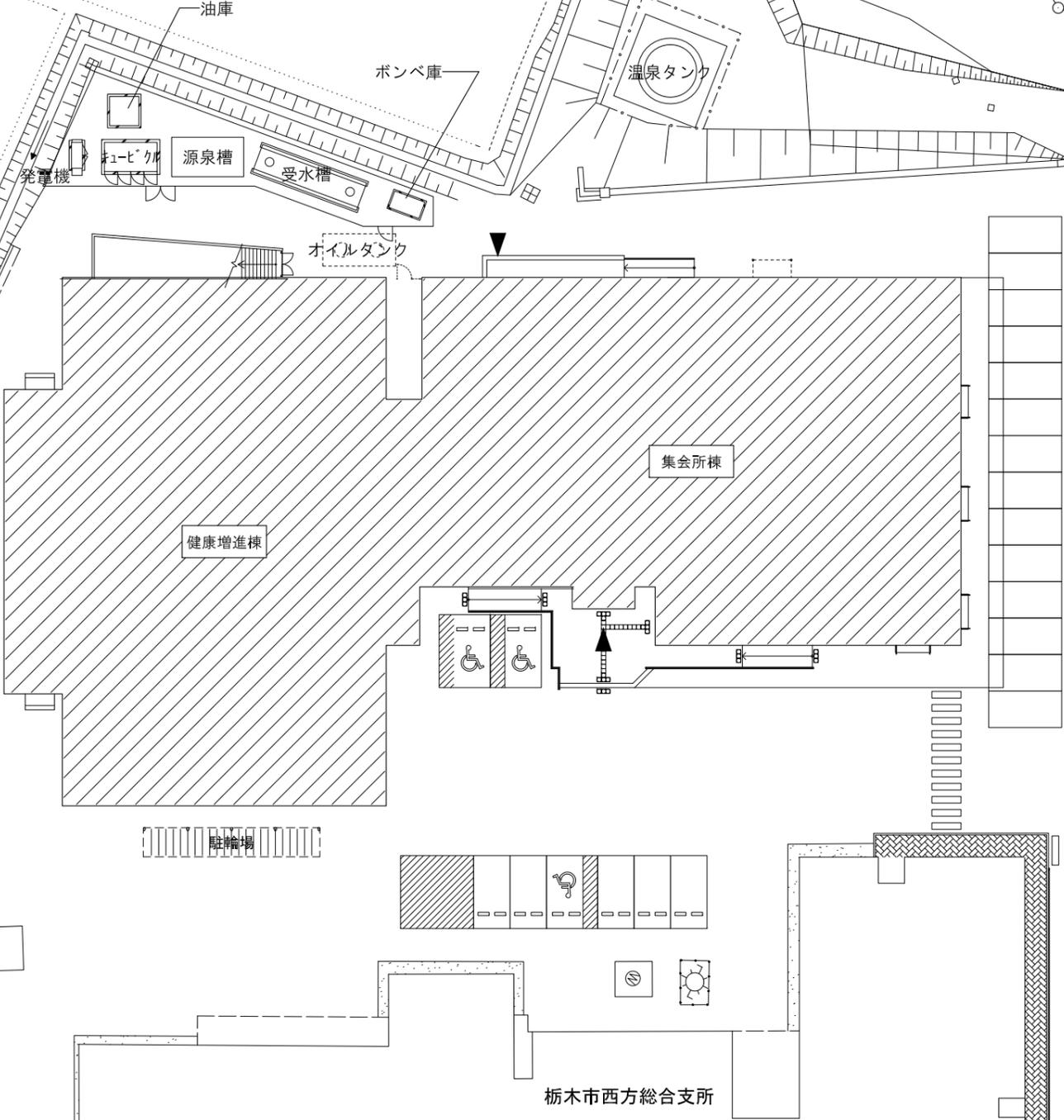
(参考) 主な部屋の特徴等について

階	部屋の名称	特徴等
1階	事務室	総合受付となる。 また、施設全体の管理の場となる。
	集団検診室 (講堂・大会議室)	集団検診の場となる。 また、講堂として、各種講演会や発表会等の場となる。 さらに、パーティションで部屋を区切り、会議室としても利用可能。 <ul style="list-style-type: none"> ■講堂として使用する場合、120人（椅子のみの場合）程度収容可能。 収納式のステージ、スクリーン及び音響設備を設置予定。 補聴器利用者がマイクを通した音声を明瞭に聞くことができるよう、磁気ループを設置予定 ■パーティションで区切る場合、1部屋につき36人（口の字型3人掛けの場合）～48人（教室形式3人掛けの場合）程度、収容可能
	小会議室	各種会議や研修、ボランティアグループの活動の場となる。 また、集団検診室と一体的に各種検診の場となる。 <ul style="list-style-type: none"> ■16人（2人掛けの場合）～24人（3人掛けの場合）程度、収容可能
	歩行用プール (15m×8m)	健康増進や介護予防などの場となる。 <ul style="list-style-type: none"> ■歩行用プールに温泉水を活用予定 ■トレーニングルームにトレーニング機器を設置予定 ■指導員を置き、利用者へのトレーニングメニューの提供及び安全管理を行う予定
	トレーニング ルーム	
浴室	プール利用者の採暖、トレーニング後のシャワー、疲労回復の場となる。 <ul style="list-style-type: none"> ■温泉水を活用予定 ■浴室のみの利用も可能 	
2階	娯楽室	主に高齢者の趣味や教養の場となる。 <ul style="list-style-type: none"> ■和室 20畳×2室 ■足腰への負担を緩和するため、椅子・テーブルも設置予定
	プレイルーム	主に親子や児童の遊び場、多世代交流の場となる。 <ul style="list-style-type: none"> ■屋内遊具や児童向け図書等を設置予定 ■クッション性のある床材を利用予定
	調理室	親子や成人に対する栄養指導、調理サークル活動や料理教室の場となる。



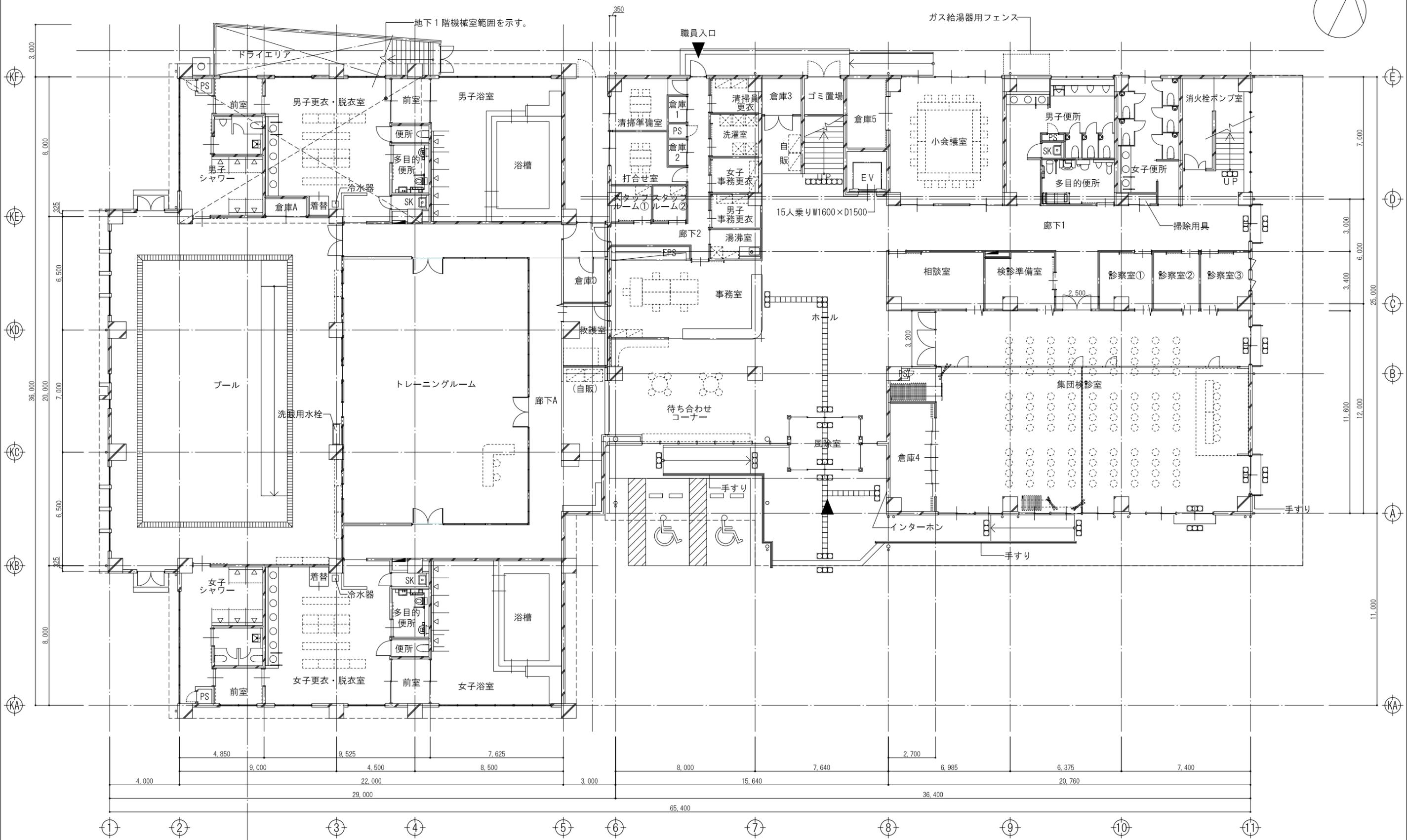
計画地：栃木市西方町本城

市道1005 (N3160) 号線



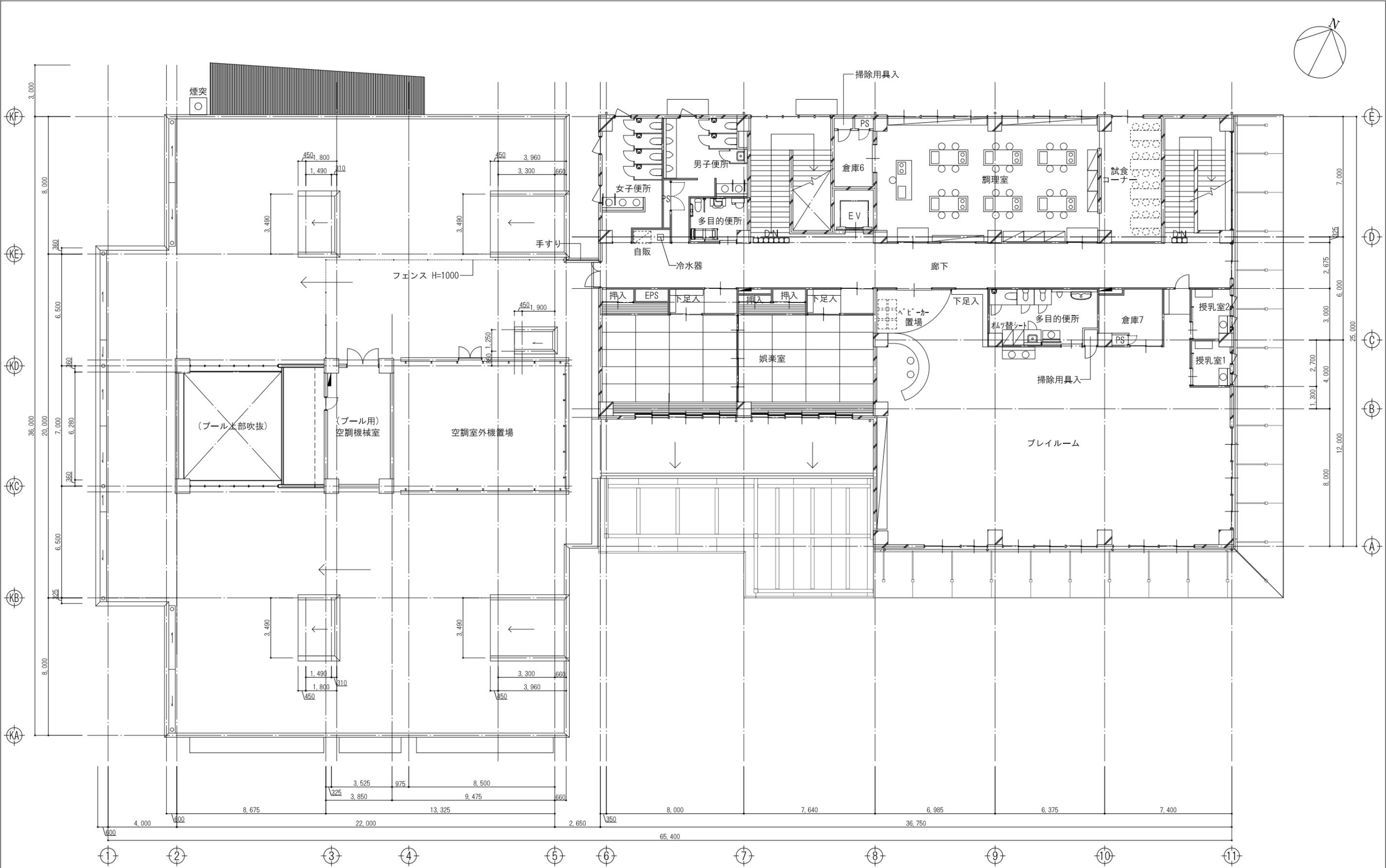
配置図 S=1/200

工事名称	北部健康福祉センター(仮称)新築建築工事	
図面名称/縮尺	配置図	S=1/200



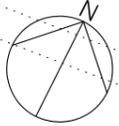
1階平面図 S=1/100

工事名称	北部健康福祉センター(仮称)新築建築工事	
図面名称/縮尺	1階平面図	S=1/100
4		



2階平面図 S=1/100

工事名称	北部健康福祉センター(仮称)新築建築工事	
図面名称/縮尺	2階平面図	S=1/100



現況高さ	
82.12	計画高さ (82.12は設計GL)

図示のVU管長さは樹間の距離なので、VU管の実長は図示の長さ+0.3mを加えたもの(両端埋込みの場合、片端埋込みの場合は0.15m)を加えたものとする

市道1005 (N3160) 号線

地先境界ブロック
120×120 L=132m

浸透層

FL=82.52
(支所FL+40mm)

来館者駐車場 2台

来館者駐車場 6台

支所FL=82.48

乗入れ部分切り落とし
コンクリート擁壁 H=1250 L=17.2m
インターロッキングブロック舗装
河川へ放流配管下端(81.42)
河川へ放流配管下端(81.43)
歩車道用手摺欄 H=850、2段手摺り
車道側 L=52m、歩道側 L=54m
コンクリート擁壁 H=550~1250 L=18.0m
インターロッキングブロック舗装
河川へ放流配管下端(81.39)
インターロッキングブロック舗装
歩車道用手摺欄 H=850、2段手摺り
車道側 L=52m、歩道側 L=54m
乗入れ部分切り落とし

工事名称	北部健康福祉センター(仮称)新築建築工事	
図面名称/縮尺	外構図	S=1/150



